

～ 豊かな学びの実現 ～

園芸科学科の生徒が先生役に フラワーアレンジメントで保育園児に花育活動

西条市三津屋南のふじ保育園で9日、丹原高校園芸科学科の2年生15人が講師となりフラワーアレンジメントの魅力を伝える体験交流会があった。園児52人は50品種約千本のバラを手に取り思い思いに飾り付けた。

丹原高生は、事前に市内の花生産者らからアレンジメントの知識や技術を学んで参加。園児は葉や茎を切る作業を手伝ってもらい「きれいにできた」「もっと花を挿したい」と充実した様子で交流を楽しんだ。

紫とピンクのバラを中



バラの花きれいに飾ろう

西条 丹原高生 園児とアレンジメント



丹原高生(中央)に教わりながらフラワーアレンジメントに挑戦する園児

心に飾り付けた石川紡ちゃん(5)は「大好きな色の花がたくさんあった。家に帰ってお母さんとお父さんに見せたい」と嬉しそうに話している。

生徒の越智紬さん(16)は「花を挿す角度や場所など見栄えがよくなるようにア

ドバイスした。家で水やりをして花のある生活を楽しんでほしい」と話した。

体験会は、西条地区青年農業者連絡協議会花弁実践班が、丹原高や県東予地方局と連携し毎年開いている。

(伊藤義樹)

日頃の農業学習を生かして、地域に貢献園児の皆さんの笑顔で、生徒たちも楽しみながら、農業学習に取り組めました。ありがとうございます。生徒たちは、自信と誇りを持って、農業学習に取り組んでいます。